



6月号

たんぽぽ組だより

令和4年6月20日 ときお保育園 担当: 菅野

雨の日が多い季節になりました。傘をさしたり長靴を履けることを喜び、嬉しそうな表情をしている子ども達を見ると、とても微笑ましく思います。



先日は田んぼまでお散歩に出かけました。子ども達は、道の途中で様々な発見を楽しみ、寄り道をしながら少しずつ進みます。アジサイを目にすると皆で立ち止まり、「かわいい!」「ピンク!」と目を輝かせ、シロツメクサやクローバーを見つけて手にしては、「おはな!」「はっは!」と大喜びで保育者に見せにきてくれます。「ちょうちょ!」「テントウムシ!」「とりさん!」と動物にはさらに大興奮です。そして、田んぼに着くと、ある子が「海みたい!」と言い、近くのお友だちも真似をして「海みたい!海みたい!」と共感して大はしゃぎ。田んぼの中をじっと見つめて生き物を探す子や「あれなに?」「これなに?」と保育者に問いかける子もいます。子どもにとっては「なんだこりゃ!」という新鮮な驚きがあふれていたようです。



さて、今月の製作ではクレヨンの上に絵の具を塗る「はじき絵」を行ないました。子ども達は夢中になって思い思いにクレヨンを走らせ、絵の具を塗る時には絵の具がクレヨンにはじかれる性質をおもしろがり、何度も塗り重ねている姿が見られました。完成すると「きれいになった!」と満足げな様子でした。今後も様々な製作活動を通して表現することの楽しさを味わってほしいと思います。



これからも、子ども達がより豊かな感受性を育めるような援助を続け、心を養う過程を大切にしたいです。